

処分組合ニュース

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

処分組合は組織団体からの負担金で運営されています
**処分組合
組織団体**

八王子市
立川市
武蔵野市

三鷹市
青梅市
府中市

昭島市
調布市
町田市

小金井市
小平市
日野市

東村山市
国分寺市
国立市

福生市
狛江市
東大和市

清瀬市
東久留米市
武蔵村山市

多摩市
稲城市
羽村市

西東京市
瑞穂町

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449
ホームページ <http://www.tokyo-shobunkumiai.com> メールアドレス sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com

処分組合は、多摩地域25市 町 380万人の可燃ごみ焼却灰や不燃物を埋め立てている二ツ塚処分場を管理・運営している特別地方公共団体です。

主な記事 緑のなが「エコセメント事業」循環型社会への着実な一歩 クリンクリンのQ&A

● 谷戸沢の四季 ● 日の出だより ● 三多摩はつなご交流事業 ● 処分場見学会を実施しました ● 処分組合の動き

脱・埋立へ！

エコセメント事業を始めます

ごみの焼却灰をリサイクルして「エコセメント」をつくります。

平成17年度末のエコセメント化施設稼働を目指し、いよいよ本格的な準備にとりかかりました。

17年度末の施設稼働へ！——「事業実施計画」を発表しました

処分組合では、最終処分場の有効活用と多摩地域のリサイクルの一層の推進に向け、ごみの焼却残さ(焼却灰)のエコセメント化について検討を続けてきました。そして、平成14年7月18日に開催した処分組合理事会において「エコセメント事業実施計画」を決定し、同日に内容を公表しました。この「事業実施計画」は、12年4月に処分組合が策定した「基本計画」をより具体化したもので、スケジュールや予定事業費のほか、

施設計画、プラント計画、土地の造成計画や搬入搬出計画などが示されています(詳細は今号の2~3ページをご参照ください)。

今後はここに示したスケジュールに沿い、17年度末の施設稼働に向けて事業を進めていくこととしています。なお、今年度は年明け早々にも、土地の造成工事を開始する予定です。

「事業実施計画」は処分組合のホームページでもご覧いただけます。

環境への影響を予測・評価——都条例に基づく説明会を開催しました

処分組合では、東京都環境影響評価条例に基づいて、エコセメント事業が周辺環境に与える影響を予測・評価し、「環境影響評価書案」をとりまとめました。そして、この評価書案の説明会を日の出町(8月25日)、あきる野市(8月29日)において開催し、関係地域の皆様に内容を説明しました。



● 住民の方々との質疑応答(8月29日・あきる野市にて)

ところが、次いで8月30日に青梅市で開催した説明会では、一部参加者の妨害があり、予定していた説明ができない状況に至りました。そこで、処分組合は事業者としての説明責任を果たすため、青梅市での説明会を再度開催することを決定し、9月11日に実施しました。この再度開催した説明会では、日の出町・あきる野市で実施した説明会と同様に、予定時間を超えた熱心な質疑応答が繰り広げられました。



多摩リサイクルの新時代が始まります

処分組合は、日の出町にある二ツ塚処分場において多摩地域25市 町の一一般廃棄物の最終処分を行っています。多摩地域の各自治体では、住民の皆様と行政が力を合わせてごみの資源



処分組合管理者・武蔵野市長 土屋正忠

化や減量化に取り組み、ごみのリサイクル率は平成12年度で24.7%と、全国平均の2倍近い数字となり、最終処分量も減少してきました。それでも今のままでは、あと12年ほどで二ツ塚処分場が満杯になってしまいます。

処分組合が進めているエコセメント事業は、これまで埋立処分するしかなかったごみの焼却灰を安全に処理し、セメントとしてリサイクルするものです。エコセメント化により、これを土木・建築資材として使用できることはもちろん、二ツ塚処分場の使用期間を2倍程度まで延ばすことが可能となります。地方公共団体としては日本で初めて実施することとなるこのエコセメント事業こそ、循環型社会に向けての大きな一歩であり、私たちの次の世代のために実現しなければならない事業です。

実施にあたっては、最終処分場と同様、地元・日の出町の皆様のご協力を得て、環境と安全に配慮し、適切な事業運営に努めてまいります。

緑のなかエコセメント事業 循環型社会への着実な一歩

これまでは“埋め立てざるを得なかった”ごみの焼却灰を主な原料として活用し、土木・建築資材として広い用途に利用できるセメントをつくります。二ツ塚処分場の使用期間を延ばし、多摩地域のリサイクルをさらに進める、着実な一歩です。



事業の目的

焼却灰をリサイクルしてエコセメントをつくります

二ツ塚処分場を長期間使用するために

多摩地域25市町で発生する家庭ごみのうち、可燃ごみを焼却した後の「焼却灰」と破砕された「不燃ごみ」は、日の出町にある二ツ塚処分場へ運ばれて埋立処分されています。このまま埋立を続けていくと平成25年度には二ツ塚処分場が満杯となり、新たな最終処分場が必要となります。しかし、多摩地域に新たな処分場を建設することは困難で、二ツ塚処分場をできるだけ長期間有効に活用することが必要です。そこで、処分組合では埋め立てる廃棄物の5割強を占める焼却灰全量をセメントにリサイクルする「エコセメント事業」を進めているのです。

こんなに変わる 二ツ塚処分場の使用期間

	平成1年	平成20年	平成30年	平成40年	平成50年
今のまま使い続けると...		(使用期間1年)			
エコセメントをつくると...		(3年以上使用できる見通しです)			



施設・プラント

1日300トンの焼却灰をセメントの原料に

焼却灰の処理能力は約330トン/日

エコセメントの製造施設の用地面積は約4.6haで、建設される二ツ塚処分場の全体面積の約8%を占めます。焼却灰の処理能力は約330トン/日(平均処理量約300トン/日)、エコセメントの生産能力は約520トン/日(平均生産量約430トン/日)。年間31日の稼働を予定しています。主な施設は下の表のとおりです。

環境に配慮したプラント設備

プラント設備は、受入、前処理、焼成、仕上げ、排ガス処理、煙突、重金属の回収等を行う設備で構成されます。排ガス処理設備では、排ガス冷却設備、ろ過式集じん機(バグフィルタ)、触媒脱硝塔、活性コークスタによって、大気汚染防止に係る自己規制値(法令等の規定よりもさらに厳しい規制値)を達成します。また、重金属回収設備による水質汚濁防止対策、さらに騒音防止、振動防止、悪臭防止、粉じん飛散防止などについても十分な対策を行います。

施設の概要

面積	計画施設用地面積 約4.6ha (二ツ塚処分場全体面積 約59.1ha)
施設規模	焼却灰の処理能力 約330トン/日(平均処理量 約300トン/日) エコセメントの生産能力 約520トン/日(平均生産量 約430トン/日)
主な建築物・設備等	管理棟、焼成棟、排ガス処理棟、煙突高さ約60メートルなど 排ガス冷却設備、重金属回収設備ろ過式集じん機(バグフィルタ)、触媒脱硝塔、活性コークスタなど



スケジュール・事業費

平成1年度末に稼働する予定です

今年度中に造成工事を開始

エコセメント施設を整備するためには、3年以上に及ぶ歳月が必要です。処分組合では今年度中に土地の造成工事に着手し、15年度後半には施設の建設工事を開始することとしています。そして、施設の稼働すなわちエコセメントの製造がスタートする時期は、平成1年度末を予定しています。

年度	平成1年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度～
造成工事					
建設工事					
施設稼働					

建設費用は約265億円

「事業実施計画」では、エコセメント施設の建設費用として約265億円を見込んでいます。この費用は、国や東京都からの補助金と組合債(銀行などからの借入金)を主な財源としています。また、稼働後の運営費用は年間2億4千万円程度と試算しました。この運営費用と毎年度の組合債の返済費用は、組織団体(25市町)にご負担いただくことを予定しています。

公設・民営で事業を実施します

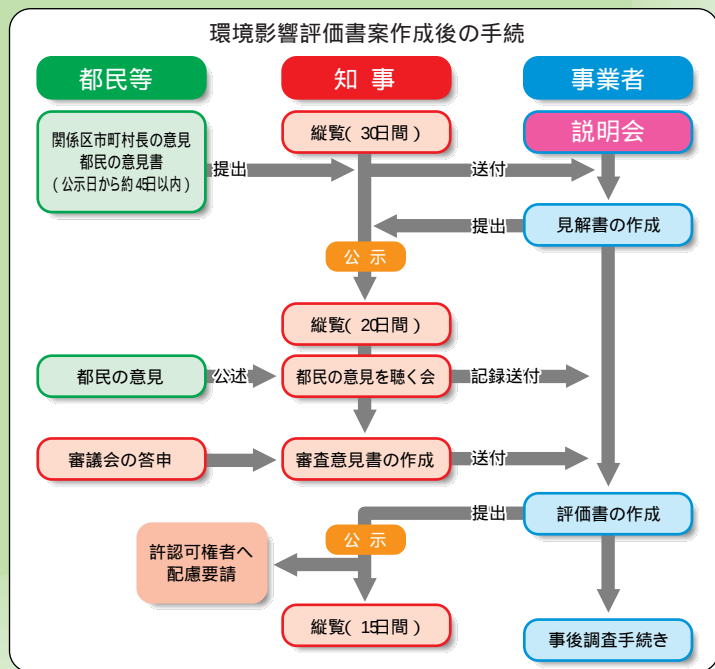
エコセメント事業は「PF(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)法」の趣旨に基づく「公設・民営方式」で実施します。これにより、事業の公共性を確保するとともに民間活力を取り入れ、経費の削減等を図っていきます。

環境影響評価手続

環境アセスメントの手続を進めています

11項目の予測・評価を行いました

処分組合では東京都環境影響評価条例に基づき、エコセメント事業の実施が環境に及ぼす影響を予測・評価し、「評価書案」としてとりまとめました。予測・評価した項目は、大気汚染、悪臭、騒音・振動、水質汚濁、地形・地質、水循環、生物・生態系、景観、自然との触れ合い活動の場、廃棄物、温室効果ガスの11項目です。いずれの項目においても、影響はないまたは少ないと予測しており、影響がある程度予測される場合には、これを軽減するための措置を実施することとしています。また今後は、右図のような手順で手続を進めていきます。



評価書案の提出以降の手続は、本年月に施行された東京都環境影響評価条例に基づき行います。

クリンクリンのQ&A

エコセメント事業って
な～に？



Q エコセメントって、どんなセメント？ どんな用途に使えるの？

A エコセメントは、清掃工場から出る焼却灰などを原料とする新しいセメントです。普通のセメント(普通ポルトランドセメント)とほとんど同じ性質を持ち、土木工事・建設工事などに使われるコンクリートの材料として広い用途に使用することができます。今年の7月にはJIS(日本工業規格)にも定められ、今後の普及拡大が期待されます。

Q 焼却灰に含まれていたダイオキシン類や 重金属はどうなるの？

A エコセメントを製造する過程で、焼却灰は1,350以上の高温で処理されるため、ダイオキシン類が分解されてしまいます。さらに急速に冷却することによって、再合成も抑制していますので、ダイオキシン類は製品中にも排ガス中にもほとんど残存しません。また重金属についても、高温での処理により排ガス中に移行したものをバグフィルタと呼ばれる機器などで捕集し、人工鉱石としてリサイクルします。このため製品中には微量しか残存せず、残存した重金属も結晶構造に取り込まれるので溶出しません。もちろん排ガス中にはほとんど含まれません。

Q プラントの煙突から出る排ガスは 危険ではないの？

A プラントの煙突から出る排ガスには、ダイオキシン類や重金属はほとんど含まれていません。その多くは水蒸気と二酸化炭素です。しかも、約60メートルの煙突から勢いよく排出されたガスは、かなり上空まで上昇し、その後に広く拡散されることになりますから、周辺に特段の影響を与えることはありません。

Q エコセメントの製造には ものすごくお金がかかるんじゃないの？

A エコセメントの製造は単なるセメントの製造ではなく、従来埋め立てるしかなかったごみの焼却灰を資源化し、最終処分場の負荷を軽減するという大きな役割を持っています。仮にこのまま二ツ塚処分場にごみの埋立を続けていけば、すぐに新たな最終処分場をつくる必要が生じてきます。新たな処分場を設置し、埋立を続けていくためにかかる莫大な費用を考えれば、エコセメント事業に投入する費用は決して高額なものではありません。

谷戸沢の 四季夏~秋

処分場の「いま」

埋立終了から 4 年半を経た谷戸沢処分場。
ここには、草原・水辺・森林と多様な自然環境のもと、
たくさんの動植物が生息しています。

今号から、このコーナーで谷戸沢の自然を紹介していくことにしました。

暑い夏。谷戸沢にはうっそうとした緑の草原が出現します。オオタカにとってこの草原は格好の餌場です。周辺部の森林では騒々しいほどのセミの音が響き、土手には野生のユリが白い花を咲かせています。

秋が来ました。ススキの草原にはトンボが飛び交い、夜にはコオロギなど虫たちの大合唱も始まります。

タカサゴユリ
周辺部の土手に自生している



●埋立跡地に出現した草原

お知らせ

日の出だより

No.15

味覚の秋。ご家族でいも掘りを 楽しんでみませんか？

日の出町には「いも掘り」体験のできる観光農園が 3ヵ所あり、皆様のご来場をお待ちしています。澄んだ秋空のもと「いも掘り」を楽しみ、おいしいいも（ベニアズマ）と思い出をお土産に！

■期間 / 10月 1日(火) ~ 11月 4日(月・休)・費用 / 株 130円(おいも 2個くらい)
団体でご予約の場合、いも焼き機の貸し出しも可能です。日の出町観光協会事務局(日の出町役場経済課内・下記問い合わせ先と同じ番号)まで、お気軽にお問い合わせください。



●人気の農産物即売コーナー

第 14 回「日の出町産業まつり」を開催！
今年で 14 回目となる「日の出町産業まつり」では、農産物、特産品の直売、地元商店の出店など約 100 店舗の出店販売をはじめ、一般参加者によるステージショー、ふれあいミニ動物園、乗馬体験コーナーなど楽しい催しを企画しています。

■期日 / 11月 2日(土)、3日(日)・会場 / 日の出町町民グラウンド

●問い合わせ先

日の出町産業まつり実行委員会(日の出町役場経済課内)
TEL. 042-597-0511(内線 241、242) FAX. 042-597-4369



●スコップ片手に秋を満喫

処分場見学会を実施しました

8月 9日と 19日、「夏休み処分場見学会」を実施しました。両日とも午前中はまず多摩地域の清掃工場へ。9日は西多摩衛生組合環境センター、19日はクリーンセンター多摩川の施設を見学しました。午後は二ツ塚処分場へ。管理センターでビデオによる説明などを受けた後、処分場内をバスで移動し、実際にごみが埋め立てられている



●管理センターでの説明

様子や、第 2 期工事の現場を見学しました。今年
は親子だけでなく多摩地域にお住まいの一般の方にもご参加いただきました。参加者からは「もっと分別に気をつけなければ」「ごみ減量の必要性を実感した」などの声が聞かれました。



●真剣な眼差しで見学する子どもたち

処分組合の動き

- 7月 5日(金) 平成 14 年第 2 回正・副管理者会議
- 7月 18日(木) エコセメント事業の環境影響評価書案を東京都知事へ提出
平成 14 年第 3 回エコセメント推進委員会
平成 14 年第 2 回理事会
エコセメント事業実施計画策定
- 7月 19日(金) 第 26 回谷戸沢処分場環境影響評価委員会
第 2 回自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 8月 1日(木)~8日(木) 二ツ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
- 8月 6日(火) エコセメント事業環境影響評価書案公示・縦覧
- 8月 13日(火) 第 2 回自治会二ツ塚処分場対策委員会
- 8月 14日(水) 第 3 回自治会谷戸沢処分場監視委員会
- 8月 21日(水) エコセメント施設設備運営事業者選定審査会
- 8月 23日(金) 谷戸沢処分場の水質等調査結果公表(平成 14 年度第 4 半期)
二ツ塚処分場の水質等調査結果公表(平成 14 年度第 4 半期分)
- 8月 25日(日) エコセメント事業環境影響評価書案説明会(日の出町公民館)
- 8月 29日(木) エコセメント事業環境影響評価書案説明会(あきる野ルピア)
- 8月 30日(金) エコセメント事業環境影響評価書案説明会(青梅市福祉センター)
- 9月 11日(水) エコセメント事業環境影響評価書案説明会(青梅市民会館ホール)
- 9月 19日(木) エコセメント事業環境影響評価書案意見書提出締切

三多摩は一つなり交流事業

2002 年夏 実施イベントの報告

昭島市と日の出町の親子がそば打ちを体験(7月 20日) 昭島市と日の出町の家族 47 人が、そば打ちを体験。子どもたちも一生懸命、そば打ちに挑戦しました。

パルテノン多摩でタンゴショーを満喫(7月 30日)

日の出町民 47 人が、多摩市のパルテノン多摩で開かれたタンゴショーを鑑賞。華麗なタンゴのダンスと演奏を楽しみました。



●そば打ちにチャレンジ！

2002 年 10 ~ 12 月 実施イベント

実施日	イベント名	事業主体
10月 13日(日)	楽焼体験と調布市花火大会	調布市
10月 27日(日)	インディアカ交流試合	昭島市
11月 4日(月)	くにたち市民まつり	国立市
11月 12日(火)	宝塚歌劇鑑賞	武蔵野市

ホームページをご覧ください

<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質などの調査結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみの処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。



問い合わせ先

TEL: 042- 385- 5947
FAX: 042- 384- 8449

処分組合ニュースの内容やごみ処理に関するお考えなど、皆様のご意見を、お手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。

〒183- 0052
東京都府中市新町 2- 77- 1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合
「処分組合ニュース係」

[メールアドレス]
sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com